

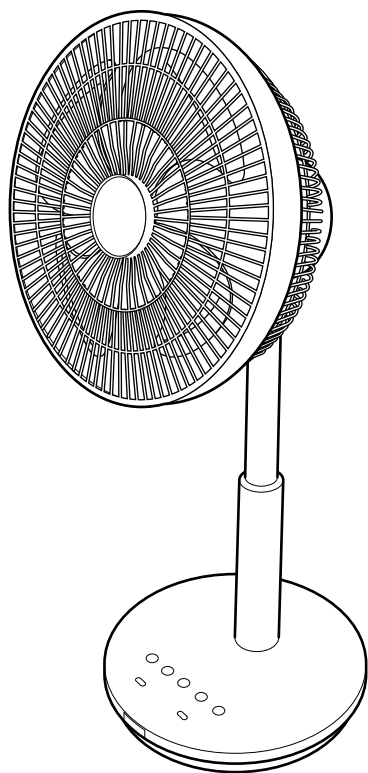
siroca

サーキュレーター扇風機

SCS-402

取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca サーキュレーター扇風機 SCS-402 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 2

仕様 4

各部のなまえ 5

使いかた

組み立てかた 6

使いかた 8

使い終わったら 11

1) 愛用の手引き

お手入れ/保管のしかた ... 12

故障かなと思ったら 13

部品・消耗品 14

長期使用製品安全表示制度
に基づく本体表示について 14

アフターサービス 15

お客様相談窓口 15

保証書 16

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。



日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

安全上のご注意











必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

					禁止（してはいけない内容）を示します。
					強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



禁止

本体のすき間、開口部にピンや針金などの金属物を入れない

本体内部に入り、ショート・故障・けがの原因になります。



禁止

以下の場所では使わない

感電・ショート・火災・爆発の原因になります。また、事故・故障の原因になります。

火気の近く、水しぶきのかかるところ、高温多湿になるところ、油や油煙が発生するところ、引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くなど



禁止

風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない

不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



禁止

乗ったり寄りかかったりしない

感電・やけど・けがなどの原因になります。



水ぬれ禁止

本体、電源コード、電源プラグやリモコンを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・故障の原因になります。



包装用ポリ袋は子どもの手の届かない場所に保管する

誤って顔にかぶったり、首に巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードや電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



電池の取り扱いは十分注意する

使いかたを誤ると、発熱や破損、けが・やけど・感電の原因になります。

- ・指定以外の電池を使わない
- ・＋と－を逆にして使わない
- ・充電、分解、加熱しない
- ・ショートさせない
- ・火の中に入れてたり、加熱しない
- ・水につけたり、ぬらさない
- ・子どもの手の届くところに置かない
- ・子どもがなめたり飲み込んだりしないように注意する
- ・電池から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
- ・長期間使わないときは、電池を取り出す

など

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを突っ張った状態で使用しない
電源コードがショートや断線して火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードをステップルやくぎなどで固定しない
電源コードがショートや断線して火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードをベースで踏みつけたままにしない
火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、機器に挟み込む など



禁止

電源プラグを子どもになめさせない
子どもが誤ってなめないように注意してください。
感電やけがの原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

部品の取り付け・取りはずし・お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

雷が鳴り出したら運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・故障の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

⚠ 注意

◆ 羽根・ガードについて ◆



禁止

羽根・ガードを取りはずした状態で運転しない
けがの原因になります。



禁止

羽根・ガードを取りはずした状態で高さ調節ボタンを押さない
モーター部が飛び出して、けがの原因になります。



禁止

ガードに髪などを近づけない
巻き込まれて、けがの原因になります。



接触禁止

ガードの中や可動部へ指などを入れない
重大なけがの原因になります。特に子どもには注意してください。



禁止

使用中にガードを持って、上下に風向きを変えない
けが・故障の原因になります。



禁止

ガードにタオルなどをかけない
故障の原因になります。

◆ 使用上の注意事項 ◆



接触禁止

使用後しばらくは、モーター軸に直接触れない
高温のため、やけどの原因になります。お手入れの際は、運転停止後 30 分程度待ってから行ってください。



禁止

カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所では使わない
転倒して、羽根の破損・けがの原因になります。












禁止










風を長時間、体に直接当てない
健康を害する原因になります。特に、乳幼児・お年寄り・ご病気のかたは注意してください。



禁止

本製品を絶対に業務用に使わない
本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無様な負担がかかり、火災・故障の原因になります。

-  殺虫剤・整髪料・掃除用具などのスプレーをかけない
樹脂や塗装部分に変質したり、破損したりする原因になります。
-  動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。
-  この商品の近くで、無線機器（アマチュア無線・パーソナル無線など）を使用しない
誤作動の原因になります。
-  入タイマー設定中は、羽根・ガードにさわらない
羽根が回り始め、けがの原因になります。
-  組み立てるとき・お手入れするときは、モーター軸を目や顔に近づけない
先端に接触してけがの原因になります。
-  長時間直射日光に当てない
変色などの原因になります。
-  テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない
電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離してご使用ください。
-  パイプに油などを付けけない
破損・けがの原因になります。
-  フローリング床をワックスがけした後は、ワックスが十分乾いてから製品を置く
あとが付いたり、ワックスが剥がれる原因になります。

-  本体を移動するときは引きずらない
床面や畳に傷が付く原因になります。
-  市販の保護ネットを取りつけない
ネットがガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因になります。
-  製品の組み立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行く
部品がはずれ、けがの原因になります。
-  お手入れは運転停止後、30分程度待ってから行う
モーター軸の高温部に触れ、やけどの原因になります。
-  丈夫で水平な床面に置く
不安定なところに置くと、転倒して、けがの原因になります。
-  本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
羽根やガードがはずれたり、落下によりけがをする原因になります。
-  輸送するときは箱に収納して輸送する
破損の原因になります。
-  リモコンを廃棄するときは電池を抜き、各自治体の指示に従い処分する
そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因になります。
-  アロマオイルは、アロマオイル製品の使用上の注意に従い、添加量に注意して使う
合成香料は使用せず、アロマオイル（天然抽出成分100%）のみを使用してください。また、多量のアロマオイルを入れないでください。

仕様

品名（型番）	サーキュレーター扇風機 (SCS-402)
サイズ（約）	幅 28.8 × 奥行 28.0 × 高さ 56.9 ～ 67.9（最大）cm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	24W
重量（約）	2.5kg

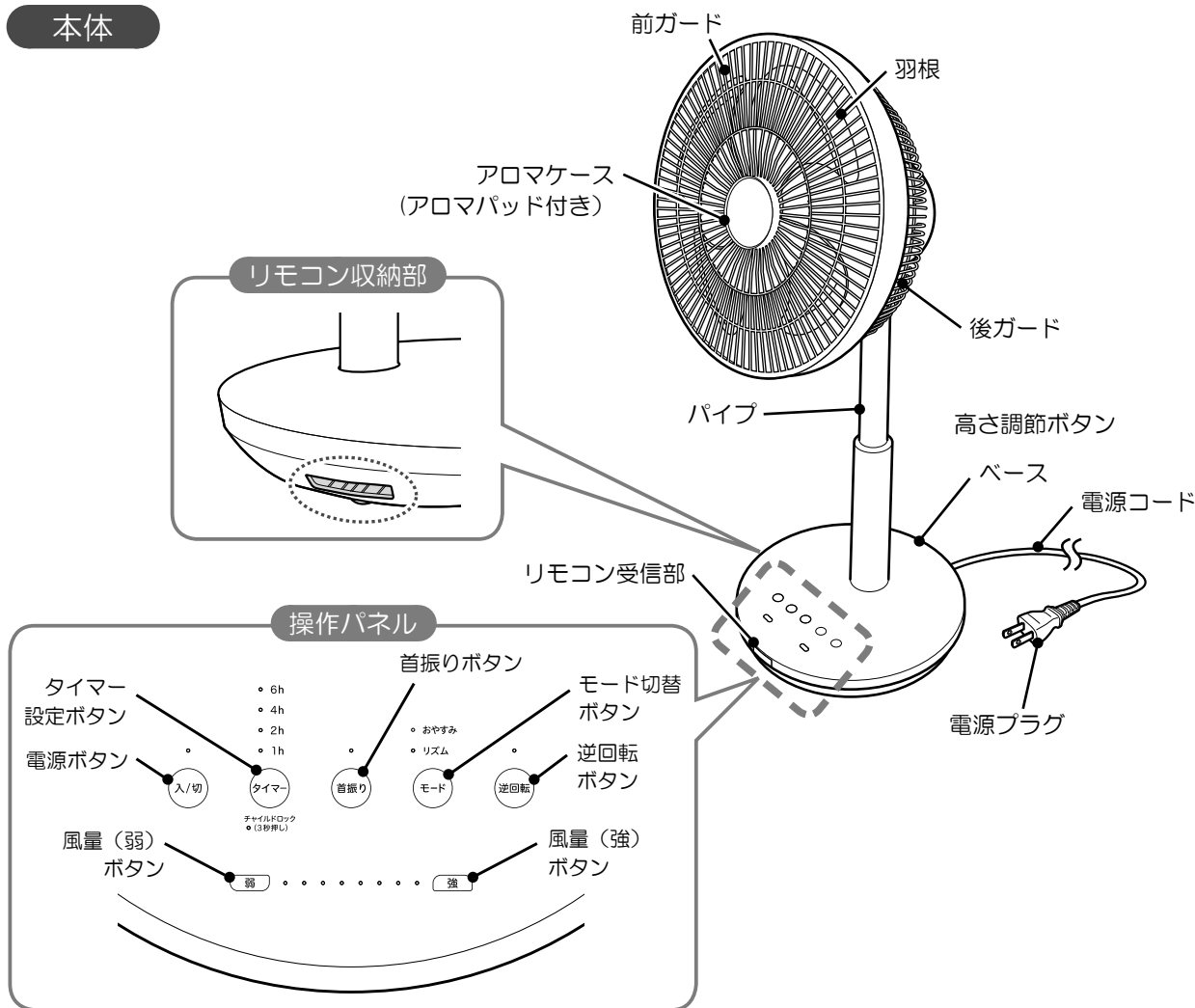
最大風速（約）	7m/s
コード長（約）	1.5m
付属品	リモコン、ボタン型リチウムイオン電池 CR2032（リモコン装着済み）、アロマパッド
生産国	中国



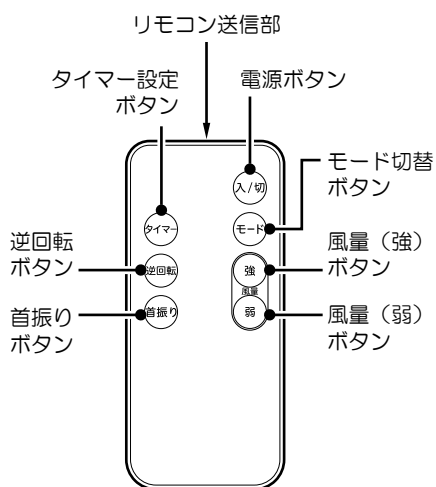
この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

各部のなまえ

本体



リモコン



リモコンの使いかた

リモコンをお使いになる前に、裏面の絶縁シートを引き抜いてください。
●電池はリモコンに入っています。テスト電池のため寿命が短くなっている場合があります。

リモコンの操作方法

- 運転や設定をするときは、リモコン送信部を本体のリモコン受信部に向けて、ボタンを押します。
※リモコンを操作できる範囲は約 3m です。
※以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。
 - ・本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物（羽根・ガード含む）がある場合
 - ・インバーター照明器具、蛍光灯をお使いの場合
 - ・本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合



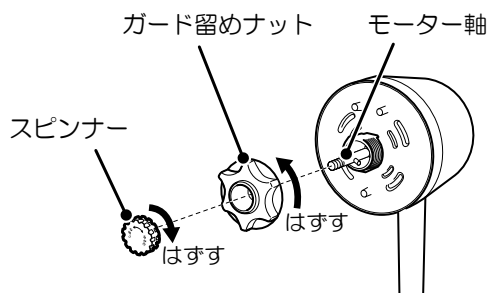
- ※ リモコン送信部に傷を付けないでください。
- ※ リモコンのボタンを、2 つ以上同時に押さないでください。

組み立てかた



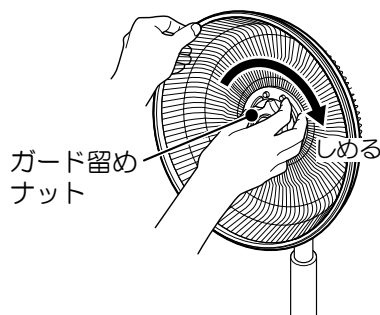
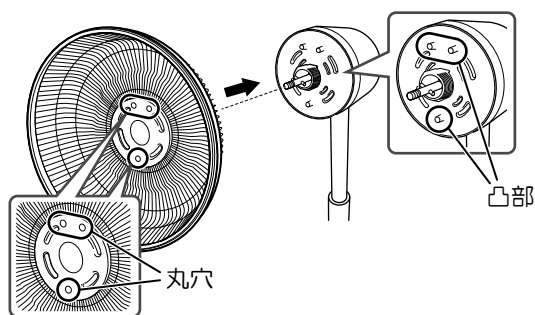
- ※ 組み立てる前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。感電・けがの原因になります。
- ※ 羽根・ガードを取りはずした状態で運転しないでください。モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
- ※ 本製品が入っていた箱、緩衝材、ポリ袋などの梱包資材は、長期間使わないときの収納のために、捨てずに保管しておいてください。

1 モーター軸から、スピナーとガード留めナットをはずす



2 後ろガードをモーター部に取りつける

- ① 後ろガードの丸穴をモーター部の凸部に合わせて差し込む
- ② 片手で後ろガードを押さえながら、モーター軸にガード留めナットを差し込み、右方向に回してしっかりと固定する



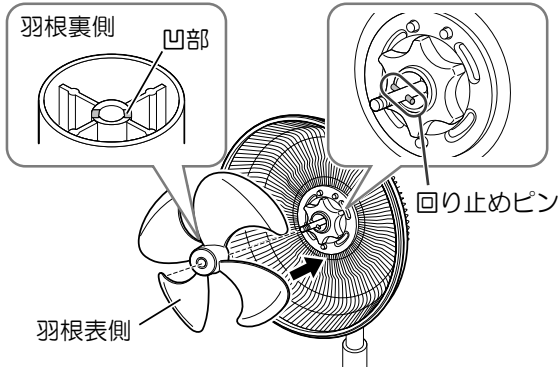
※ 梱包時は前ガード・後ろガードが固定されており、羽根がその中に入っています。各パーツを取りはずしてから、組み立てを行ってください。前ガード・後ろガードの取りはずしは、手順 4(7ページ)のガードの取り付け作業を逆の手順で行ってください。



※ ガード留めナットは、確実にしっかりと固定してください。ガードがはずれて、機器の損傷・けがの原因になります。

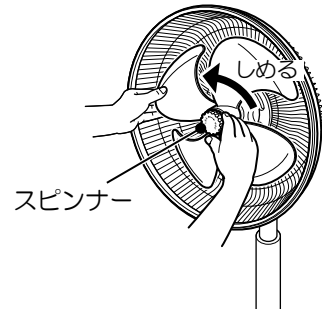
3 羽根を取りつける

① モーター軸の回り止めピンと、羽根裏側の凹部の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込む



※ 羽根は必ず表側を前にして、正しい向きに取りつけてください。

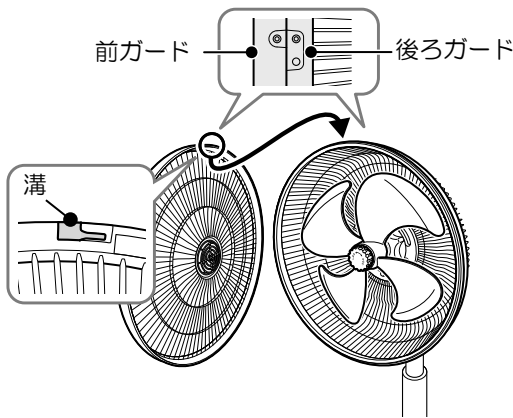
② 片手で羽根を押さえながら、モーター軸にスピナーを差し込み、「しめる」の方向に回してしっかりと固定する



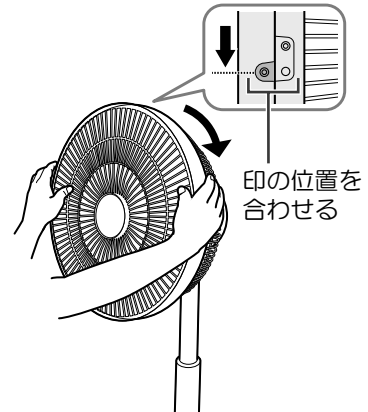
※ スピナーは確実にしっかりと固定してください。羽根がはずれて、けがの原因になります。

4 前ガードを取りつける

① 前ガードの◎マークと後ろガードの◎マークの位置を合わせて、前ガードを後ろガードに取りつける
※ 前ガードがうまく取り付けられない場合は、前ガードの溝（4カ所）が後ろガードのツメにはめ込まれているかどうかを確認してください。



② 前ガードを押しながら右方向に回し、前ガードの◎マークを後ろガードの○マークの位置に合わせて固定する



③ 前ガードがしっかりとめ込まれたことを確認してから使う



※ 前ガードは、確実にめ込んでください。ガードがはずれて、けがの原因になります。

使いかた

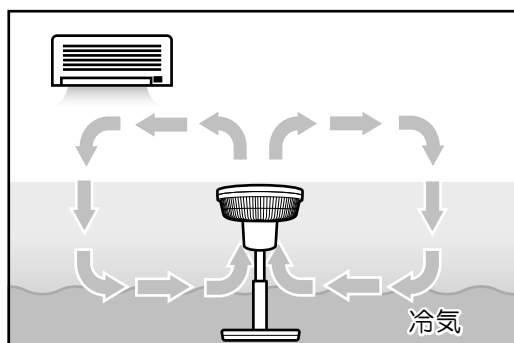
本製品は、通常の扇風機の使いかたに加えて、羽根の正回転と逆回転を使い分けることでお部屋の空気を循環させる使いかたもできます。下記に主な使用例をご紹介します。

室内の空気を循環させて冷暖房で得た暖気や冷気を効率的にかくはんし、室内の温度を迅速に平均化することができます。冷暖房効率が高まることで、冷暖房費の節約にもつながります。

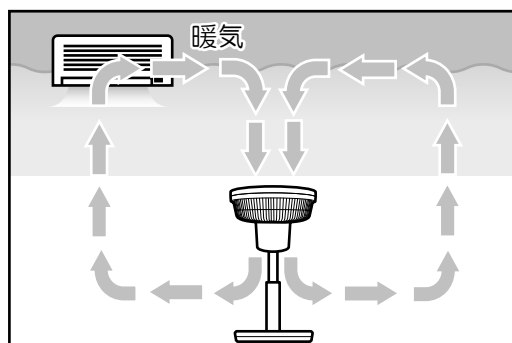
- 冷房時（正回転）… 床に滞った冷気を循環させます。
- 暖房時（逆回転）… 天井に滞った暖気を循環させます。

正回転と逆回転はワンタッチで切り替えることができます。9ページの「逆回転モードで運転する」を参照してください。

冷房時の使用例（正回転）



暖房時の使用例（逆回転）



運転を開始する



※ ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。
重大なけがの原因になります。特に子どもには注意してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- “ピッピッ” という音がします。

2 電源ボタンを押して、電源を入れる

- “ピッ” という音がして運転が開始します。
- 再度電源ボタンを押すと、“ピッ” という音がして運転が停止します。



※ チャイルドロックがかかっていると、電源ボタンを押しても反応しません。「タイマー」ボタンを3秒間長押ししてチャイルドロックを解除してください。
※ 運転中に操作しない状態で12時間経過すると自動的に運転が停止します。

操作パネル / リモコン

入/切

3 風量を調節する

- 「風量（強）」ボタンを押すと、風量が強くなります。「風量（弱）」ボタンを押すと、風量が弱くなります。
- 風量は「レベル1（最弱）」から「レベル8（最強）」まで8段階に設定できます。風量レベルに応じて、風量表示ランプが点灯します。

操作パネル

弱

強

リモコン

強

風量

弱

運転モードを切り替える

「モード切替」ボタンを押すと、「連続」、「リズム」、「おやすみ」の3つの運転モードを切り替えることができます。

連続 … 同じ風量で連続して風を送ります。

リズム … 風量に変化をつけたリズムカルな風を送ります。

おやすみ … 設定した風量レベルが30分ごとに1段階ずつ下がります。風量が最弱まで下がると、そのままの風量で運転が続きます。

- 「モード切替」ボタンを押すごとに、「リズム → おやすみ → 連続」の順番で運転モードが切り替わります。
- 「リズム」モード、「おやすみ」モードを設定しているときは、操作パネルに選択した運転モードのランプが点灯します。
- 「おやすみ」モードが設定されているときは、操作パネルの全ランプの点灯が暗くなります。

操作パネル / リモコン

モード

逆回転モードで運転する

羽根の回転を反転することで、気流の方向を変えることができます。天井に滞っている暖気を循環させる場合などに有効です。

操作パネル / リモコン

逆回転

- 「逆回転」ボタンを押すと、羽根の回転が反転し、本体背面から風が吹き出します。
- 逆回転で運転中は、操作パネルの「逆回転」ボタンのランプが点灯します。
- 正回転に運転を切り替えるには、再度「逆回転」ボタンを押します。

首振り運転にする

左右の首振り運転を設定できます。

操作パネル / リモコン

首振り

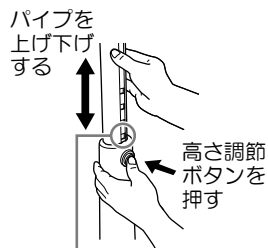
- 「首振り」ボタンを押すと、左右の首振り運転が始まります。
- 首振り運転中は、操作パネルの「首振り」ボタンのランプが点灯します。
- 再度「首振り」ボタンを押すと、首振り運転が停止します。
- 左右の首振りは手動で調節できません。首振り運転で左右の角度を調節してください。

使
い
か
た

高さを調節するとき

片手で支柱後側の高さ調節ボタンを押しながら、もう一方の手でパイプ部分を上げ下げして、高さを調節する

※ 低くする場合は、高さ調節ボタンを押さずに上から力をかけて調節できます。カチッとなるところまで下げて高さを調節してください。

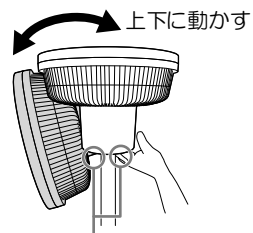


高さ調節ボタンの上、指や手を置かない
指や手をはさみ、けがの恐れがあります。

風向きを調節するとき

モーター部を軽く押さえ、上下に動かして、お好みの向きに調節する

※ カチカチと音が出る範囲まで調節できます。



手を挟まないように注意する



- ※ 運転中にガードを持って、上下に動かさないでください。けがの原因になります。
- ※ モーター部とパイプのすき間に、指や手をはさまないように注意してください。

使いかた

タイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に運転が開始する入タイマー／自動的に運転が停止する切タイマーを設定できます。

切タイマーの設定は、運転中にタイマー設定ボタンを押して行います。

入タイマーの設定は、運転停止中にタイマー設定ボタンを押して行います。

- タイマー設定ボタンを押すごとに、設定時間が1時間、2時間、4時間、6時間の順に切り替わります。設定されている時間によって、操作パネルのランプが点灯します。
- タイマー設定を解除する場合は、すべてのタイマー表示ランプが消灯するまで、タイマー設定ボタンを繰り返し押ししてください。
- 切タイマー設定は、電源を切ると解除されます。

操作パネル / リモコン

タイマー



※ 就寝中などに、扇風機の風を長時間体に当てないでください。健康を害する恐れがあります。

チャイルドロックを使用する

子どもが誤ってボタンを押してしまっても、扇風機の動作をさせないように操作用のボタンをロックできます。

- 運転中に「タイマー」ボタンを3秒間長押しすることで、チャイルドロックがかかります。電源ボタンで運転停止する操作以外のボタン操作ができなくなります。
- チャイルドロックがかかっている間は、チャイルドロックのランプが点灯し続けます。
- チャイルドロックは、電源が切られている状態でも継続します。解除するときは、「タイマー」ボタンを3秒間長押ししてください。
- 電源プラグをコンセントから抜くと、チャイルドロックは解除されます。

操作パネル / リモコン

タイマー

チャイルドロック
● (3秒押し)

アロマを使用する

1 扇風機の電源を切る

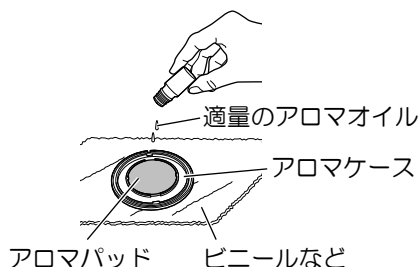
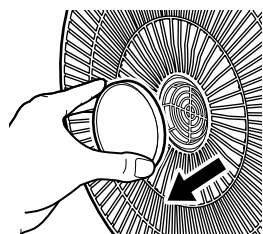
操作パネル / リモコン

入/切

3 アロマパッドをアロマケースにはめ込み、アロマオイルを適量（1～2滴）染みこませる

2 アロマケースを取りはずす

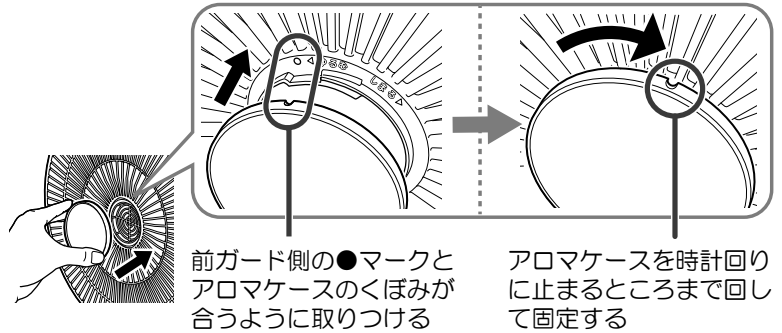
- アロマケースを反時計回りに回して、取りはずしてください。



4

アロマケースを前ガードに取りつける

- アロマオイルが前ガードに付着しないよう気をつけながら、ゆっくりと取りつけてください。



5

扇風機の電源を入れる



- ※ 本体やアロマケースに直接アロマオイルが付着したときは、きれいに拭き取ってください。アロマオイルの成分によっては、本体やアロマケースが割れ・変色・変形することがあります。
- ※ 汚れがひどい場合、アロマケースと前ガードは洗い流してきれいにしてください。洗い流した後は、十分に乾かしてから取りつけてください。
- ※ 本体を移動するときは、アロマケースがはずれて落ちないように注意してください。
- ※ 合成香料は使用せず、アロマオイル（天然抽出成分 100%）のみを使用してください。
- ※ 本製品をお使いになる際、アロマオイルは使わなくても問題ありません。お好みでお使いください。
- ※ アロマパッドからアロマオイルが揮発することで香ります。

使いかた

使い終わったら

使い終わったら

1

電源ボタンを押して、電源を切る

- “ピッ” という音がして、運転が終了します。



2

電源プラグをコンセントから抜く

- 電源プラグをコンセントから抜くと、設定は初期状態に戻ります。
- 電源プラグをコンセントから抜かなければ、前の運転設定を記憶しています。

お手入れ／保管のしかた

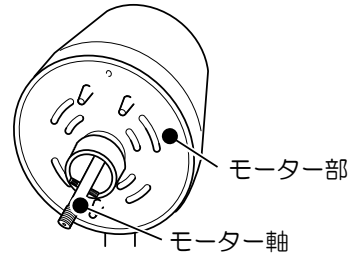
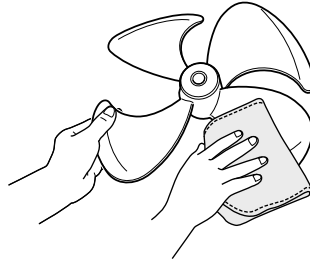


- ※ お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、各パーツを取りはずしてから行ってください。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。

お手入れする

パイプ・ガード・ベース・羽根

- 柔らかいふきんを水またはぬるま湯にひたして固く絞り、汚れを拭き取る。
- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯にふきんをひたして固く絞り、汚れを拭き取る。



モーター部

- モーター軸の汚れは、柔らかいふきんで拭き取り、サビ防止のためにミシン油を薄く塗る。
※ モーター部にほこりが多量に付着していると、異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。

アロマケース

- 柔らかいふきんを少しぬらして、固く絞って拭く。

アロマパッド

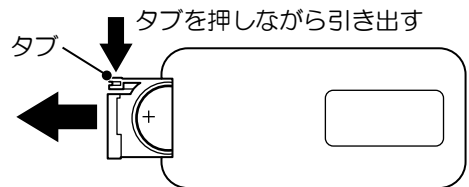
- アロマパッドは水洗いできません。
※ 香りを変える場合や、アロマパッドの汚れがひどい場合は新しいアロマパッドに交換してください。
14 ページの「部品・消耗品」を参照して、お買い上げの販売店で求めください。

保管する

- お手入れをした後、緩衝材を取りつけて箱に収納し、湿気の少ないところで保管する。
※ 保管には、本製品が入っていた箱、緩衝材やポリ袋などの梱包資材をお使いください。
箱、緩衝材や梱包資材は捨てずに保管しておいてください。
※ 保管するときは、必ずリモコンから電池を取り出してください。電池が液漏れをすることがあります。

リモコンの電池を交換する

- 1
リモコンを裏返し、右図のタブを押しながらか電池トレイを引き出す
- 2
古い電池を新しい電池に交換する
● 印字面（+側）を上向きにしてボタン型電池を電池トレイに入れます。
- 3
電池トレイをリモコンに入れる



- ※ 本体がリモコンの操作を受け付けなくなったときは、市販の新しいボタン型電池（CR2032）と交換してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直し方
電源が入らない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	チャイルドロックがかかっていますか。	「タイマー」ボタンを3秒間長押しして、チャイルドロックを解除してください。
運転中に操作ができなくなった。	チャイルドロックがかかっていますか。	「タイマー」ボタンを3秒間長押しして、チャイルドロックを解除してください。
羽根が回らない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	スピナーがゆるんでいませんか。	羽根をスピナーでしっかりと取りつけ直してください。
羽根は回るが異常な音がする。	スピナーがゆるんでいませんか。	羽根をスピナーでしっかりと取りつけ直してください。
	ガードがしっかりと固定されていますか。	前ガードのツメを後ガードに確実にはめ込んでください。
リモコンで操作できない。	受信部に向けて操作していますか。	リモコンを本体の受信部に向けて操作してください。
	電池は消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。
	電池の入れかた（＋の向き）が間違っていないですか。	電池を正しい向きで入れ直してください。
	チャイルドロックがかかっていますか。	「タイマー」ボタンを3秒間長押しして、チャイルドロックを解除してください。
運転が自動的に止まる。	切タイマーを設定していませんか。	切タイマーを解除してください。
	操作せずに、12時間が経過していませんか。	操作を行わないまま、12時間経過すると、自動的に電源が切れる仕様になっています。
正面から風が出ない。	逆回転モードで運転していませんか。	逆回転モードでは、本体背面から風が出ます。「逆回転」ボタンのランプが点灯している場合は、「逆回転」ボタンを押して正回転にすることで、正面から風が出ます。

こんなとき	理由
風量に変化するときの回転音が気になる。	風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と音がすることがあります。モーター特有の音で、異常ではありません。
首振りするときの動作音が気になる。	首振り運転時に、「カタカタ」、「コトコト」と音が一時的に強まることがあります。首振りモーター特有の音で、異常ではありません。
首振りが一時的に止まる。	首振りの角度が両端のとき、一時的に止まることがあります。首振りモーターが位置を確認するために一時的に空回りしているためで、異常ではありません。

長年ご使用の扇風機の点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ コンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
または、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
(「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。)

別売品	部品コード
リモコン	SCS-402RC
アロマパッド(※)	SCS-401AP

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦 4 桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】本体に表示してあります。
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件

日本工業規格 JIS C9921-1 および(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による (水平で安定した場所)
負荷条件		定格負荷(風速)	製品の取扱説明書による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8(時間/日)	
	1日の使用回数	5(回/日)	
	1年間の使用日数	110(日/年)	
	スイッチ操作回数	550(回/年)	
	首振り運転の割合	100(%)	

※ 環境条件の温度 30℃、湿度 65%は、JIS C 9601 の試験状態を参考としています。

※ 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火/けが等の事故に至るおそれがあります。

※ “経年劣化”とは、長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈シロカサポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間：10時～17時（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
インターネットでのお問い合わせ：ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、シロカサポートストアからもご注文いただけます。

〈シロカサポートストア〉 <https://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp